

事務事業名		日中一時支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	障がい福祉係	担当課長名	青村裕子	
	施策	2 障がい者の社会参加と自立の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 日常生活支援の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	4108	一般	3	1	2	日中一時支給事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	18年度～		年度	根拠法令 条例等	障害者自立支援法、佐野市日中一時支援事業実施要綱				
	事業区分						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
	事業区分						実施方法		全面委託		
事業区分						事業分類		その他直接サービス提供事業			
事業区分						リーディングプロジェクト		該当なし			
事業区分						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
・障がい者又は障がい児からの利用申請受付及び支給決定事務。 ・サービス提供事業所との委託契約及び利用料の公費負担支払事務。			事業概要と同様。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			申請者数	人	136	162	170	175	180	
			実利用者数	人	126	133	160	165	170	
			延べ利用日	人日	6,811	6,848	6,480	6,480	6,480	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
在宅で生活する障がい者(児)。			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			在宅で生活する障がい者(児)数(申請者数)	人	136	162	170	175	180	
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
適正に支給決定することで障がい者(児)の日中における活動の場が確保でき、家族の就労支援及び介護負担の軽減を図る。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			実利用者数/申請者数	%	93	82	94	94	94	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
自立した日常生活が送れる。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			介護給付及び障がい児通所給付利用者数	人	1,339	1,504	1,500	1,550	1,600	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	国庫支出金	千円		11,131	10,626	11,044	11,044	11,044		
	県支出金	千円		5,565	5,313	5,522	5,522	5,522		
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円		5,737	6,359	8,535	8,535	8,535		
	事業費計(A)	千円		22,433	22,298	25,101	25,101	25,101		
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			日中一時支援給付費	22,433	日中一時支援給付費	22,298	日中一時支援給付費	25,101	日中一時支援給付費	25,101
人件費	人		1	1	1	1	1			
のべ業務時間	時間		360	360	360	360	360			
人件費計(B)	千円		1,401	1,419	1,419	1,419	1,419			
トータルコスト(A)+(B)	千円		23,834	23,717	26,520	26,520	26,520			

事務事業名	日中一時支援事業	担当部	子ども福祉部	担当課	障がい福祉課	担当係	障がい福祉係
-------	----------	-----	--------	-----	--------	-----	--------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	障害者自立支援法に基づき市が実施する地域生活支援事業として平成18年10月から開始。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成24年度から一部が「放課後等デイサービス事業」へ移管。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	サービスに関することや施設に関する事など、多様な意見が寄せられている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取り組み
現状維持	現状維持により対象外。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	保護者の就労支援や介護の負担軽減のため、日中の活動の場を与えることは、社会参加にも繋がり、意図と結び付く。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	保護者の就労支援や介護の負担軽減のため、日中の活動の場を与えることは、社会参加にも繋がるもので妥当。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	一時的に見守り等の支援が必要とされる方を支援し、介護をする家族の負担軽減に繋がるため、対象と意図は妥当。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	実施している方法が適切で、別のやり方で成果を向上させることは考えられない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	障がい児通所給付事業の放課後等デイサービスが新しく始まったため、児童で利用可能な方はそちらに移行する場合もある。ただ、放課後等デイサービスに定員があるため該当者全員が移行することは不可能である。
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	類似事務事業名	障がい児通所給付事業	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業自体は委託、適正に事業を実施するための費用を算定。従って、削減する余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	原則1割負担であるが、平成22年度から非課税者の自己負担がなくなり、基準額もあるため適当。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
日常的に介護している家族の負担を軽減することは、必要不可欠であり、廃止や休止はできない。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			